

## 令和7年度

### 砂防・地すべり技術センター研究開発助成の対象課題決定

当センターでは、「砂防・地すべり技術センター研究開発助成事業」として、平成4(1992)年度より、砂防並びに地すべり及びがけ崩れ対策に関する技術開発及び調査研究を対象に、新たな施策の展開を目指すテーマで優れた人材を結集し十分な遂行能力を有する研究者に対して、助成してきました。

この度、厳正なる審査の結果、令和7年度の研究開発助成の対象となる以下の9課題が決定しました。

※五十音順（代表者）

研究課題	代表者	代表者所属 (申請時)
地形判読時の暗黙知をベースにしたDInSARによる活動的地すべり検出の感度評価手法の開発	宇佐見 星弥	(独法)北海道立総合研究機構
近年発生した地震による広範囲かつ高密度の崩壊性地すべり分布の表現の試み	河野 勝宣	鳥取大学
土石流の粒径が堆積機構に与える影響の解明と数値計算モデルへの実装	酒井 佑一	宇都宮大学
多次元方向の計測変位に基づくがけ崩れ発生時刻の予測手法の高度化 -加速的変位急増(第三次クリープ)の開始時刻の判定-	笹原 克夫	高知大学
素因の違い及びその長期時系列変化が斜面崩壊規模に与える影響を定量的に抽出可能な降雨指標の開発	執印 康裕	九州大学
山地源頭部における河床変動モニタリングの高度化による土砂流出過程の実態解明	高山 翔揮	京都大学 防災研究所
地すべりボーリングコアの画像診断技術の開発	西山 賢一	徳島大学
ブロック堰堤の安定性に関する実験的研究	藤本 将光	立命館大学
火砕サージの運動による熱伝達の実態と特性 -土砂移動制御による減熱の可能性-	山田 孝	北海道大学

当センターでは、国土の保全と国民生活の安定に向け、この研究開発助成などを通じて、砂防等の技術に関連する他の領域との調和を図り、かつ民間の知識を集約した試験研究を行うことにより、砂防並びに地すべり及びがけ崩れ対策に関する技術の向上を図るとともに、これらの事業を効率的な実施につなげてまいります。